NIE実践報告

1．タイトル：「将来の夢新聞」をつくろう！

2．学校名

北中城村立北中城小学校

3．実践者名（代表者名）

甲斐　崇

4．学年

６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　　１５１名

6．単元（本時の学習課題）名

将来の夢新聞（キャリア教育）

7．目標(狙い)

自分が将来就きたい仕事や関連する新聞報道から、自分なりの課題をもって進んで情報を集め、レイアウトや見出しを工夫してオリジナルの将来の夢新聞をつくる。

8．評価の視点

自分の課題をもって継続的に仕事に関する記事や報道を追い、収集した資料を活用し、工夫して分かりやすい新聞をつくることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「将来の夢を考えよう」（講演会、未来予想図など）［総合的な学習の時間：３時間］両親の仕事調べ・発表会［夏休みの課題、総合：４時間］「将来の夢新聞」［総合：7時間］　合計14時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１自分が就きたい仕事について知っていることを話し合う（1時間）
２新聞づくりの方法を知り、活動の課題をもち、計画を立てる。（1時間）
３計画にそって切り抜きや資料を集める。(2時間)
４調べたことや体験を新聞にまとめ、発表会を行う。(3時間)

（留意点）
・新聞だけでは情報が足りない場合は、書籍やインターネットなどの情報も活用させる。
・集めた記事は要所を切り抜いて模造紙の上に配置させる。実際の記事のレイアウトやパンフレットなどを参考にさせる。必要に応じてイラストも入れる。見出しは一目で内容が分かり、読みたくなるような表現を考えさせる。
・社説という形で自分が考えたことを入れるようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞を通して自分が就きたい仕事がどのような仕事かを知り、夢の実現に向けて見通しを持つことができた。が、選んだ仕事によっては新聞になかなか関連記事が見つからず苦労している子もいたので支援を要した。見出しなどを効果的につけている新聞が多く見られた。どの児童も楽しんで活動することができた。

12．成果と課題

・将来の夢を一つの新聞にすることは、関連記事によって夢が形となって確認できるだけでなく、他の新聞から様々な仕事があることを知ることができた。
・新聞に掲載されていることと、他のメディアでの取り上げ方の比較までできると良かった。
・作って終わりにせず、継続して記事を調べさせ、関連記事を収集させるとさらに深まりが出たであろう。